

産業ミュージアム部会 (前頁のつづき)

新規取組

NO. 10

高砂駅前再整備方法等について協議を行い、整備を進める

継続中



駅前広場イメージ図

市は、高砂駅南地区まちづくり協議会の意見を聴き、平成30年度に高砂駅南地区まちづくり構想を策定し、令和元年度に高砂駅南周辺整備基本計画を策定しました。現在、地権者等による勉強会の開催に向けて、調整を進めているところです。

歴史ミュージアム部会

新規取組

NO. 2

駐車場、トイレを設置し、道路の美装化を行う

完了

整備された駐車場及びトイレ

工業部駐車場及びトイレの整備、道路整備(カラー舗装)を行い、平成30年度に完了しました。



町並みに合わせて舗装された道路

NO. 14

既存の団体を中心に行う

継続中

町並みの保全と継承を目指しているんだね!

「高砂歴史ガイドクラブ」や「荒井ふるさと再発見隊」により、旅行者及び市民、小学生などに対して語り部やまち歩きを実施しています。また、有志を募集し、語り部育成を行っています。



ガイドの練習中のみなさん

「高砂歴史ガイドクラブは、平成17年の発足時から市内観光の一翼を担おうと観光ガイドの活動を行ってきました。観光ガイドは、教本を読むだけの知識ではなく、現地を歩いて町並みの特徴や建造物の歴史を目で見て覚えていくのが一番の近道であることから、新入会員は先輩会員の行くところ、常に教本を持って付いていきます。観光ガイドとしてひとり立ちするには3~4年はかかりますが、早い人は2年目に入ると一部の史跡においては、マイクを持って観光ガイドができるようになっています。」(高砂歴史ガイドクラブ)

NO. 16

推進協議会HP、観光協会(現 高砂市観光交流ビューロー)HP等で

祭りの特集を掲載する

継続中

市や高砂市観光交流ビューローのホームページにおいて、伝統ある高砂の秋祭りについての情報を公開しPR活動を行っています。

高砂神社秋祭りでは、3年に一度神輿を御座船に乗せて海上を渡御する「船渡御」があり、令和2年5月に高砂市指定文化財にも指定されました。大切に継承されているわが町の資源について、ぜひホームページなどからご覧ください。

<http://www.city.takasago.lg.jp/index.cfm/18,0,173,882.html>

船渡御の様子



高砂市の船渡御を紹介するHPのQRコードとアドレス



ご質問等ございましたら、お問い合わせください!

編集：みなとまちづくり瓦版づくり隊 発行：高砂みなとまちづくり構想推進協議会
【お問い合わせ先】高砂市まちづくり部まちづくり推進室都市政策課 開庁時間 8:30~17:15
〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号 TEL 079-443-9033 FAX 079-443-9091



みなとまちづくり瓦版のバックナンバーを見ることもできます!



第14号 令和3年3月

みなとまちづくり瓦版

<http://www.city.takasago.lg.jp/index.cfm/19,0,196,958.html>

高砂市では、臨海部がもっと元気になるため、住民と企業と行政が一緒になって「高砂みなとまちづくり構想」を策定し、構想の基本理念と施策を具体化するため、市民、企業、関係団体、専門家、行政などが一体となって取り組むプログラムとして「高砂みなとまちづくり行動計画」をつくり、様々な活動を行っています。

「高砂みなとまちづくり構想」は、平成17年3月に目標年次を平成37年(令和7年)として策定されました。平成29年4月には、それまでの活動をもとに取り組み内容を見直し、重点的に実施すべき43項目に絞り込みました。また、これらの内容は平成29年から令和7年の9年間を計画期間としており、本年度が中間年度にあたることから、令和2年11月に各ミュージアム部会を開催し、完了したものの、継続中のものについて状況の確認を行いました。今号では、43項目の取り組み内容と現状評価をご紹介します。私たちのまちでどのような取り組みが行われているのか、知っていただけたらと思います。

■ウォーターフロントミュージアム部会

NO.	プラン	取り組み内容	実施内容	評価
1		沖浜平津線(小松原区)の整備を行う。	平成29年12月に全線整備が完了した。	完了
2	南北交通軸の整備	NPOと地元住民により、宝殿荒井線において街路樹植栽に花苗の植栽を行いシンボル道路化を図る。	次ページ以降で紹介しています!是非ご覧ください! <input checked="" type="checkbox"/> チェック	継続中
3	プレジャーボートなどの放置対策	サービス機能を付加したボートパークや留置施設を整備し、放置禁止区域を設定する。	対策を検討中である。	継続中
4		「夕陽」をテーマとした写真展等を開催。	平成19年度から平成28年度までの10年間あらい浜公園に写真を展示した。平成29年度は10年間の成果として写真展を開催し、本取組を終了した。	完了
5		あらい浜公園の利活用、イベントや学習会などの実施	ホテルの放流、ふれあい花壇、高砂浜風駅伝大会等を実施している。	継続中
6		ホテル等水生生物が観察できる小川づくり	ボランティアにより、ホテル幼虫の放流(4月、観察会(5月)を開催している。(令和2年度は未実施。来年度はホテルの放流を実施予定。)	継続中
7		ふれあい花壇の充実を図る。	オーナーにより2回(春季、秋季)、花苗を植栽している。	継続中
8		集客力向上のための交通機関との連携	山陽電鉄以南の公共交通機関のあり方について調査し、公共交通機関の確保に努める。	継続中
9		種子及び花苗の配布、緑化資材提供事業等	次ページ以降で紹介しています!是非ご覧ください! <input checked="" type="checkbox"/> チェック	継続中
10	花いっぱい活動	家や道の周りに花を飾る「門前花いっぱい運動」を推進する。	NPO法人花と緑のまちづくり高砂により、育苗した花苗を販売し、希望があれば植栽の講習会を実施している。	継続中
11		整備、改良が必要な公園施設について、市民ニーズを踏まえて、必要な施設の整備、改良を行う。	県 平成29年度 トイレ、休憩所改良 平成31年度 照明灯7基、転落防止柵250m、東屋1基設置、舗装(駐車場、園路) 令和2年度~ カラー舗装(園路)	継続中
12		高砂海浜公園、向島公園の利活用、公園整備や公園施設の改良及び海辺の保全	県 平成30年度 手すり84m 令和3年度~ 案内看板設置予定	継続中
13		アオサ等を取る清掃活動を行い、水質、底質等の保全を図る。【新規取組】	次ページ以降で紹介しています!是非ご覧ください! <input checked="" type="checkbox"/> チェック	継続中
14		花火大会を実施する。	ナイトファンタジーイリュージョン実行委員会(観光交流ビューロー、市)により実施している。	継続中
15		たかご方灯祭を実施する。	たかご方灯祭実行委員会(県、市、商工会議所、観光交流ビューロー、市内企業、各種団体)により実施し、約8万人が訪れる。	継続中
16		堀川周辺~海浜公園を利用したイベントを企画する。	市により、向島公園周辺エリアに関し、将来的な本格的な利活用に繋げるため、試験事業を実施中である。	継続中
17		ホームページ、パンフレットを活用した積極的なPR	みなとまちづくりニュースを発行する。	継続中
18			高砂みなとまちづくり構想推進協議会のホームページの更新を図る。	継続中
19		姫路市東部臨海地域の連携する土地利用について、姫路市との調整を進めるとともに、高須松村線の整備方法等について検討する。	都市計画道路高須松村線は、臨海部に計画されている播磨臨海地域道路のアクセス道となることから、姫路市と広域的な整備について協議している。	継続中

産業ミュージアム部会



NO.	プラン	取り組み内容	実施内容	評価
1	播磨臨海地域道路の整備	播磨臨海地域道路の具体化に向け、ルート、道路区分等について引き続き検討する。	次ページ以降で紹介しています！是非ご覧ください！ チェック	継続中
2	利用者増加に向けた港湾サービスの向上策の検討、東播磨港のポートセールス	地球温暖化ガスの排出削減に寄与する海運へのモーダルシフト※1など、利用者の意見を聞きながら港湾利用向上策を導入する。	県営クレーンの設置に向け、県が検討を進めている。	継続中
3	市内外企業等への需用調査や東播磨港へのポートセールス※2を行う。	東播磨港における利用者ニーズ等を把握するため、県がヒアリング調査を進めている。	東播磨港における利用者ニーズ等を把握するため、県がヒアリング調査を進めている。	継続中
4	既存港湾の維持管理	景観保護と清潔なまちをつくるため、市民主体による美化活動を展開する。	国土交通省、県、商工会議所、地元企業、市及び市民のボランティアによりリフレッシュ瀬戸内を年1回実施している。	継続中
5	陸上や海上からの産業ツーリズム、イベントの企画・実施	地元企業による理科教室や工場見学等を開催する。	キッコーマン食品(高砂工場)、サントリープロダクツ(高砂工場) (注) (備力ネカ高砂工場)等により、工場見学を実施している。また、備力ネカ高砂工場では小学生を対象とした理科教室を年1回開催している。(注) コロナ感染拡大により現在休止中。	継続中
6	商工会議所と企業などによる産業ツーリズム推進組織による取組	ツーリズム推進組織にて、コース設定、企業技術や事業変遷等の公開、教育の場としても活用する取り組みを行う。	東播磨産業・ツーリズム協議会を中心に、市と商工会議所、観光交流ビューロー、企業等の連携により、産業ツーリズム推進全県の取組を行っている。観光交流ビューローが、観光ガイドボランティアを育成し、連携・協力して、堀川地区を中心にコース設定とガイドを行っている。また、工業家旧宅を活用して歴史講座を実施した。	継続中
7	伝統産業のPR	竜山石、高砂染め、松右衛門帆のPRをする。	次ページ以降で紹介しています！是非ご覧ください！ チェック	継続中
8	空き店舗活用	空き店舗の実態調査を行うとともに、空き店舗活用方法等についての協議を行う。	市において、平成28年度に空き家等の実態調査を行った。商工会議所が中心となって、市や事業者と連携、協力しながら、シェアオフィスやサテライト機能としての空き家・空き店舗活用に取り組み、クリエイティブ産業の誘致を目指している。(LINプロジェクト※3)	継続中
9	高砂の表玄関づくり	高砂駅前再整備について、関係団体等と整備イメージ等を検討し、実現に向けた協議を行う。 【新規取組】	平成30年7月に高砂駅前地区まちづくり協議会が設立され、高砂駅前周辺整備の実現に向けて、協議を進めている。	継続中
10	高砂の表玄関づくり	高砂駅前再整備方法等について協議を行い、整備を進める。 【新規取組】	次ページ以降で紹介しています！是非ご覧ください！ チェック	継続中

モーダルシフト※1 トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。
 ポートセールス※2 港湾施設を知っていただくために、関連企業・団体を直接訪問してPRを行うこと。
 LINプロジェクト※3 Lead the Intelligent Network in Creative industryの略(和訳:創造的産業のネットワークをリードする。)

歴史ミュージアム部会



NO.	プラン	取り組み内容	実施内容	評価
1	案内板設置	サイン計画に基づき、説明板・案内板を設置する。	市及び協議会により、高砂町のサインを平成28年度に24箇所設置完了した。	完了
2	駐車場、トイレを設置し、道路の美化を行う。 【新規取組】	説明板や案内板の設置等により体系的にルート化して来訪者を誘導する。 【新規取組】	高砂・堀川周辺の案内サイン標識工事を行い、平成30年度に完了した。	完了
3	堀川地区のまちなみの保存	堀川地区の歴史資産を調査し、残すもの、残す場所等を検討する。	市教育委員会により、県指定史跡高砂堀川の保存活用を検討している。また、堀川全体の発掘調査については令和2年度も引き続き行っている。	継続中
4	堀川地区のまちなみの保存	既存施設を活用した歴史資料館の位置、規模等について、関係団体等と意見交換し設置する。	既存施設を活用した歴史資料館の設置に関する関係団体等との意見交換はまだ実施していない。	実施せず
5	堀川地区のまちなみの保存	関係団体とワークショップ等を開催する。	令和元年度に市教育委員会と観光交流ビューローの共催で日本遺産シンポジウムを開催した。	継続中
6	堀川地区のまちなみの保存	古い町屋、空き家をギャラリーや店舗に活用する。 【新規取組】	中島邸(観光交流ビューロー)、花井邸(高砂来て民家(高砂まちづくり協議会))等がギャラリー等に活用している。	継続中
7	歴史回廊ルート・観光ガイドづくりとイベント実施	高砂、荒井、伊保、曾根地区において、意見交換会を開催し、住民意識の向上を図る。	高砂、荒井、伊保、曾根地区において、景観等をテーマとした意見交換会は開催していない。	実施せず
8	歴史回廊ルート・観光ガイドづくりとイベント実施	旧入江邸(曾根町;兵庫重要文化財)の早期公開を目指す。	保存整備工事実施に向け、市で検討を進めている。また、曾根町町くらぶと市により、邸宅の臨時公開やイベントの開催を実施している。	継続中
9	地元住民への高砂市の歴史のPR活動	みなとまちづくりニュースの発行	協議会により、瓦版を年に1回発行している。	継続中
10	地元住民への高砂市の歴史のPR活動	高砂市の歴史・文化等に触れるため、教育委員会と小学校等との連携による総合学習を実施する。	学校や石の宝殿研究会、荒井ふるさと再発見隊等により、小学校における総合学習及び体験活動、民間活動を通じ、高砂市の歴史文化についての学習等を支援している。	継続中
11	文化・交流・育成	高砂、荒井、伊保、曾根地区において、意見交換会を開催し、住民意識の向上を図る。	荒井地区においては、荒井ふるさと再発見隊により地区の歴史を学び、小学生とのまち歩きの実施(荒井校区歴史探検隊)や他団体との交流を図っている。	継続中
12	既存施設を活用した地域活動の拠点づくり	歴史的建築物を核としたイベント等の開催について検討し、市民の新しい交流創出を図る。 【新規取組】	工業邸や中島邸(観光交流ビューロー)、花井邸(高砂来て民家(高砂まちづくり協議会))においてイベント等を開催し、市民の交流を図っている。	継続中
13	ボランティアガイドの育成	既存の団体(歴史ボランティアガイドクラブ、荒井ふるさと発見隊)を中心に行う。	次ページ以降で紹介しています！是非ご覧ください！ チェック	継続中
14	祭りの探求、祭りのPRと連携	中学校、秋祭り保存会等の連携による取り組みを検討する。(例:総合学習などの活用)	市により、高砂神社船遊覧の民俗調査を実施し、令和2年5月に市指定文化財に指定された。今後は、高砂神社秋祭り大祭船遊覧の保存継承活動を推進(協力)する。	継続中
15	祭りの探求、祭りのPRと連携	推進協議会HP、観光協会HP等での祭りの特集を掲載する。	次ページ以降で紹介しています！是非ご覧ください！ チェック	継続中

ウォーターフロントミュージアム部会

NO. 2 NPOと地元住民により、**継続中**
 宝殿荒井線において街路樹樹に花苗の植栽を行いシンボル道路化を図る

NPO 法人花と緑のまちづくり高砂と地元自治会員により、宝殿荒井線(市道荒井・塩市幹線道路)の街路樹樹に年2回(春季・秋季)補植を行って、市民に潤いやあらぎを与え、まちなみの景観にも寄与しています。



宝殿荒井線の植栽風景

NO. 9 種子及び花苗の配布、**継続中**
 緑化資材提供事業等

緑化資材提供事業(県)、花のある道づくり事業(県)、記念樹の配布(市)、あらい浜風公園のオーナー花壇への花苗等の提供(市)等について、高砂市施設利用振興財団を通じ、実施しています。



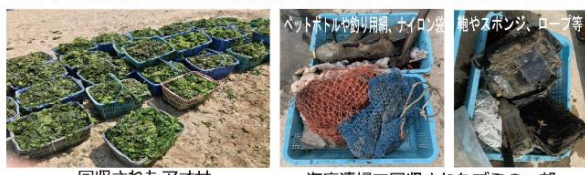
提供された花苗

花苗を植えている様子

NO. 13 **新規取組**
 アオサ等を取る清掃活動を行い、水質、底質などの保全をはかる **継続中**

「播磨マリンクルー」などのボランティア団体、市環境政策課等によりアオサ等の清掃活動を行い、水質、底質等の保全を図っています。また、海の底質保全に関する取り組みとして、高砂漁業組合と伊保漁業組合で結成した「高砂市豊かな海を守る会」が、活動の一つとして海底耕うん※と海底清掃を年に1回実施しています。(台風等で漂流物が増えると回数が増加)

「高砂市豊かな海を守る会」では、他にも海と魚について知ってもらうための取り組みをたくさん行っています。それらについても、今後みなさんにご紹介していきたいと思っています。(協力:「高砂市豊かな海を守る会」)



回収されたアオサ

海底清掃で回収されたゴミの一部

※海底耕うんとは、海岸から1kmの範囲を鍬(くわ)のように爪がついた耕うん具を漁船に装備して海底を耕し、海底の泥や砂に溜まった栄養塩を拡散することで肥沃な環境をつくる取り組みです。

海底耕うん機

産業ミュージアム部会

NO. 1 **新規取組**
 播磨臨海地域道路の具体化に向け、**継続中**
 ルート、道路区分等について引き続き検討する

令和2年6月に、近畿地方整備局より加古川内陸ルート帯が示されました。現在は、ルート決定に向け国による環境影響調査や用地調査等が進められています。市は、住民や地元企業が利用しやすいルートの要望や早期着手に向け、兵庫県や関係市町と連携を図り、国に対する働きかけを行っています。



出典:播磨臨海地域道路パンフレット

NO. 7 **継続中**
 竜山石、高砂染め、松右衛門帆のPRをする

高砂市観光交流ビューローが、ホームページやポスター・チラシにより竜山石、高砂染め、松右衛門帆の情報発信を行っています。また、帆布を使った小物づくりや高砂染ハンカチをつくるワークショップなどを行いPRしています。



高砂市観光交流ビューロー「まちの観光会館 結びん」

ワークショップのお知らせやパンフレット



一般社団法人 高砂市観光交流ビューロー
<http://www.takasago-tavb.com/>

